

## 2018年度 第2回全日本理事会

1. 日時：2018年12月1日（土） 女子準決勝 終了後

2. 会場：大田区総合体育館 会議室

3. 出席者：会長 市川 伊三夫  
副会長 菅野 健、福田 順一、山本 章雄  
理事長 高野 和弘  
副理事長 浅井 正仁、出居 綾子  
常任理事 遠藤 俊郎、加治 健男、滝澤維世嗣、積山 和明、黒田 進、  
横沢 民男、渡辺 剛、太田尻紗也香  
理事 秋峯 良二、小坂 直人、黒田 謙二、櫻井 貴志、佐幸 法昭、  
徳永 文利、原 巖、山下 仁、米沢 利広  
運営理事 大中 明子、加藤 敬夫、木下 健、永田 道子、日置 康夫、  
森野 昇  
学生理事 徳永 光輝、保科 凌介、波多野 充、野村周一朗、川本 喬之、  
栗栖 将吾  
陪席者 佐々木冬星、村田美沙希、宮下 琢磨、中村 照悟、竹原 創人、  
中原 亜樹、野村 亘、金丸 泰晟、佐久間絢菜  
文責者 横井 千紘

・議決権を持つ役員42名 出席者36名 委任14名 （過半数を超えたため理事会成立）

4. 議長：高野 和弘

5. 議題：① 2019年度以降の全日本インカレについて  
② 男女強化事業報告・来年度事業連絡  
③ 黒鷲旗推薦枠  
④ 全日本ビーチ報告  
⑤ 法人化について  
⑥ その他

6. 議事内容

- ① 2019年度以降の全日本インカレについて
- ・2019年度以降の全日本インカレについて説明があった。
  - ・2020年度の全日本インカレ会場は東京体育館を使用する予定で話を進めているとのことであった。
  - ・2021以降の全日本インカレに関しては、次回の理事会に向けて検討する。
- ② 男女強化事業報告・来年度事業連絡
- ・男子強化事業報告・来年度事業連絡について説明があった。
  - ・来年度のシニアについては、人数を絞って選手の強化に努めるとのことであった。
  - ・来年度のシニアの合宿予定については早急に計画を立て決まり次第報告するとのことであった。
  - ・アジア選手権については、どのカテゴリーが出場するのか決定していないが、アンダーカテゴリーで出場させたいとJVAから要望があったとのことであった。
  - ・高身長（195CM以上）の合宿開催を検討する。
  - ・女子強化事業報告・来年度事業連絡について説明があった。
  - ・来年度から新たに大学選抜（除くユニバーシアード候補）として2019V・サマーリーグ女子大会に参加するとのことであった。
- ③ 黒鷲旗推薦枠
- ・黒鷲旗推薦枠について説明があり、例年通りの推薦枠の全日本インカレ男女上位3チーム及び、関西枠で男子1チームを推薦するとのことであった。

- ④ 全日本ビーチ報告
- ・ビーチバレーボール・ジャパン・カレッジ2018 第30回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会について説明があった。
  - ・ビーチバレーボール・ジャパン・カレッジ2018決算書について説明があり、承認された。
- ⑤ 法人化について
- ・一般財団法人全日本バレーボール連盟定款について説明があった。
  - ・英訳はJapan University Volleyball Federation (JVUF)に変更となった。
  - ・法人化をするにあたって経理で統一するものに関しては税理士とまとめていき、その他の項目も含め3月に行われる理事会で決定するように調整するとのことであった。
  - ・2019年度一般財団法人全日本大学バレーボール連盟役員(案)について説明があり、満場一致で承認された。
  - ・資料に記載されている役員と学生10名が加わり役員編成されるとのことであった。
  - ・2019年3月3日の第一回全日本理事会後に評議委員会を開催する予定とのことであった。
  - ・2019年1月9日に一般財団法人全日本大学バレーボール連盟として法務局に設立登記申請する事となった。
- ⑥ その他
- ・全日本大学バレーボール男女選手権大会組合せ抽選等に関する内規について説明があった。
  - ・第4条3項①の例について、関東と東海のシード校について訂正があった。
- 【訂正】 関東(14校) → 関東(13校)  
東海(6校) → 東海(7校)
- ・来年度から全日本インカレ抽選会を11月3日に固定する為、各学連秋季リーグの日程が期日に間に合うよう呼びかけられた。
  - ・全日本大学バレーボール連盟危機管理内規(案)の説明があった。
- 【訂正】 第2条 対処法 → 対応法
- ・今年の全日本インカレ期間中に怪我人が発生したため、JVAの基準に基づき作成された全日本バレーボール連盟施設・用具等のチェックリストが新たに設けられた。
  - ・救急車要請対応シートを新たに設け、使用法について説明があった。
  - ・救急車要請対応シートについては複写出来る様に準備するとのことであった。
  - ・ユニバス(日本版NCAA)について連盟として設立時より加入することが承認された。
  - ・最近、問題視されているパワハラや暴力問題について、JVAと協力し指導者マニュアルの作成やポスター等での啓発活動を進めていく活動が始まったと報告があった。
  - ・JVAの中期計画について、JVAが試案を練っているため資料が提出され次第、連携することとなった。
- 【来年度の使用球について】
- ・来年度からのボールの使用について説明があった。天皇杯、黒鷲旗、Vリーグについては男女ともミカサで統一するとJVAから報告があったとのこと。
  - ・JVAより全日本インカレに関しては、男子モルテン女子ミカサを使用球とする様にとの話があったが、男女を逆にしてほしいとの申し出をし、承認された。しかし、女子強化委員会よりモルテンを使用することに納得できないとの申し出があった。
  - ・全日本理事会としては、男女ともミカサのみの使用で進めていきたいという意見でJVAと協議することとなった。
  - ・その後、理事長がJVAとの協議の結果、全日本インカレに関しては、男女ともミカサの新型ボール(V300W)を使用球とすることが決定した。
  - ・JVAは、2019年度は従来型ボールを使用するが、ワールドカップ以降は新型ボールを使用することを検討している。学連としては、ミカサとの打ち合わせにてリーグ戦・東西インカレの使用球を検討している。上記、決定次第各学連に通知するとのこととなった。